製薬協

第3回創薬力向上のための官民協議会
施策検討・推進部会

2026年10月30日(金)

議事①「製造・国内投資」に対するコメント

製薬協

①勝てる・守るべき領域への重点投資のあり方

[課題] 抗体医薬・ADCの原薬製造から無菌充填までの国内一貫製造設備や細胞株・GMPセルバンク構築等の開発支援機能が不足

[要望]
- 市場性のある抗体医薬・ADCを重点支援領域の一つとし、バイオ原薬製造、高活性コンジュゲート製造、ペイロード・リンカー製造、無菌充填の各設備を一体的に整備
- 細胞株・GMPセルバンク構築、非臨床CRO、CMC・分析技術等の共通基盤への支援が必要
- CGT等の将来領域についても、医療安全保障上の必要性や市場性を踏まえた支援が必要
- デュアルユース事業等により整備された製造基盤を、感染症有事に即応できるよう平時から維持・活用するため、長期的かつ柔軟な支援が必要

② 海外との政策競争を踏まえた国内投資・再投資の促進

[課題] 国内需要の不足、実績・経験・コスト面での海外CDMOの優位性により、国内CDMOは製造実績の不足が初回委託の障壁となり、国内製造拠点の利用が進まない。さらに、既存設備の老朽化、建設費・設備費の高騰、専門人材の不足が国内投資・再投資を阻害

[要望]
- 国内CDMOの利用実績を形成するため、アカデミア・スタートアップ等による製造委託費用への補助など、実績不足の懸念を上回る経済的優遇を設け、国の支援で得た製造実績を公開して製薬企業の利用につなげることが必要
- 併せて、老朽設備の更新や国内製造案件への補助金・税制優遇、建設費・設備費の上昇に対応した柔軟な投資支援が必要

③ 社会保障の視点にとどまらない医薬品産業政策のあり方

[課題] 医薬品産業は、新薬を創出できる国が世界でも限られる中、外貨獲得や経済成長に貢献し得る産業である一方、医薬品政策は社会保障・医療費におけるコストとして議論され、経済成長への投資しての価値を踏まえた議論がなされていない

[要望]
- 産業振興として、中長期的・継続的な公的資金の投入・拡充を検討
- 革新的医薬品がもたらす多様的価値（健康寿命の延伸、生産性向上等）を踏まえた給付・負担の在り方の検討
- イノベーションの適切な評価と、市場環境の予見可能性の確保、米国のMFN価格政策への対応

製薬協